

## 開校 150 年を迎えて

明治 6 年 5 月 23 日に開校した赤江小学校は、開校 150 周年を迎えました。長きにわたって赤江小学校を支えてくださっている赤江地区の皆様にご心より感謝申し上げます。

本校では、開校 150 年という大きな節目に、子どもたちに赤江小に対する誇りと愛着、多くの皆様への感謝の気持ちを育んでいきたいと考え、児童会の実行委員会の協力と、加藤聡士実行委員長をはじめとする PTA 運営委員会母体とした開校 150 年記念実行委員会のお力により、2 ヶ年にわたり様々な記念事業に取り組んで参りました。

10 月 28 日（土）の記念花火大会には、大変多くの方にお出かけいただきました。子どもたちは、夜空に広がる 350 発の花火を見て赤江小学校に対する思いを深めてくれたことと思います。開校 150 年を迎えた小学校は日本中に数多あれども、地域、保護者、学校が一丸となって花火大会を成功させた例は非常に稀であると思います。皆様で祝し盛り上げていただきありがとうございますし、誇らしく、心強くもあります。あらためて地域に支えられている学校であることを強く感じました。

50 年前に編纂された「赤江教育百年誌」の中に、長きにわたり赤江教育を支え発展させたものとして三つのことがあげられています。第一は、「一生懸命勉学に励む子どもと向学心。」第二は、「子どもの成長を願う親心とその集団。」第三は、「赤江小学校を『うちの学校』と呼び教育環境整備に努力された地区民の郷土愛」です。この三つは、「一生けん命学ぶ子ども」「子どものためにと熱心で協力的な P T A」「応援して下さる地域の皆様」として脈々と受け継がれ、歴史ある赤江小教育が発展してきました。赤江小学校の財産であると思っています。これからも赤江小学校をご支援くださいますようお願い申し上げます。（校長 難波真章）

